

F★★★★

ホルムアルデヒド放散等級

超低汚染外壁保護クリヤー



UVプロテクトクリヤーシリーズ



外壁を美しいまま包み込む



Basic & New

NIPPON PAINT



■ PRODUCT LINE UP

超低汚染セラミックハイブリッド無機系外壁保護クリアー

 **UVプロテクトMKクリアー**

超低汚染シリコン系外壁保護クリアー

 **UVプロテクトSiクリアー**

超低汚染フッ素系外壁保護クリアー

 **UVプロテクトDFクリアー**

水性2液形高意匠サイディングボード用超低汚染シリコン系外壁保護クリアー

 **水性UVプロテクトクリアー**

住まいは、 見た目。 外壁のお悩みを クリアーに解決

住まいの外観、
その大部分は外壁です。
多くの人の目にふれると同時に
多くのリスクにさらされています。
だからこそ、手当は早く、そして確実に
UVプロテクトクリアーシリーズは、
窯業系サイディングボードの美しさを
そのままパッケージするように、
見た目はそのまま、
すぐれた機能を与えてくれます



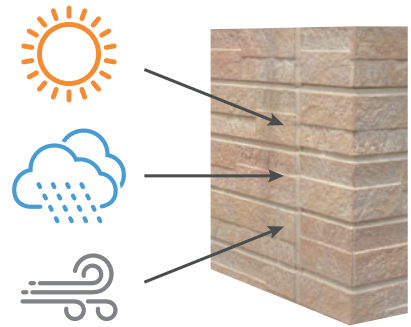
New!



なぜ必要？ Reason

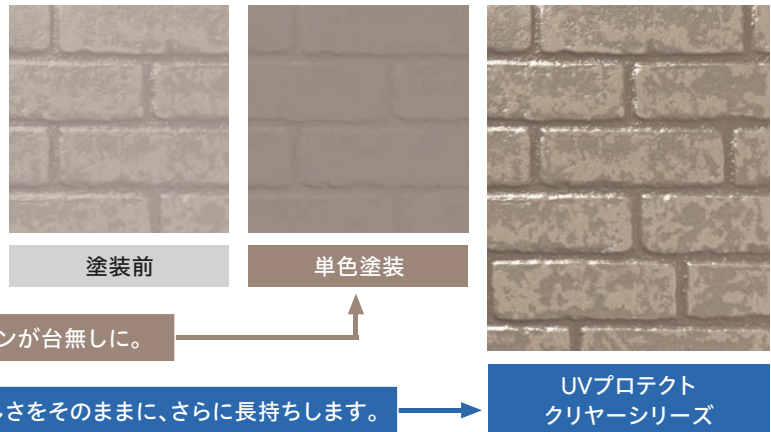
晴れの日も雨の日も。 外壁は住まいを守る盾

常に屋外で紫外線や風雨にさらされる外壁。気が付かないうちに傷んでしまいます。新築から10年を目安にリフォームを検討することが一般的ですが、早いうちに外壁をコーティングしておく、新築時の状態を長く保ち、リフォーム時の負担を軽くできます。



元の素材を活かす サステナブルな透明塗膜

塗料を塗り重ねることなく、今のデザインを活かし、永く楽しんでいくサステナブルな製品です。



単色で塗りつぶすと、せっかくの外壁デザインが台無しに。

デザイン性の高いサイディングボードの美しさをそのままに、さらに長持ちします。

UVプロテクト
クリヤーシリーズ

〔適応表〕 お使いいただけるサイディングボード

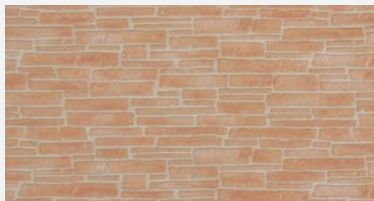
ご使用いただけます

窯業系

シンプル



高意匠



※

ご使用いただけません

金属系



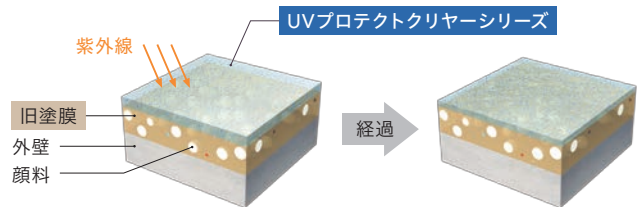
※表面に光触媒コーティングが施されたサイディングボードにはご使用いただけません。

3大特長 Features

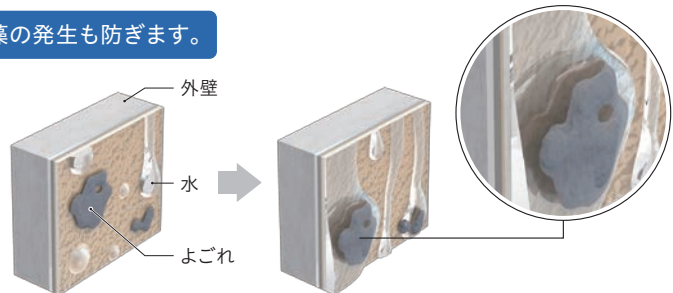
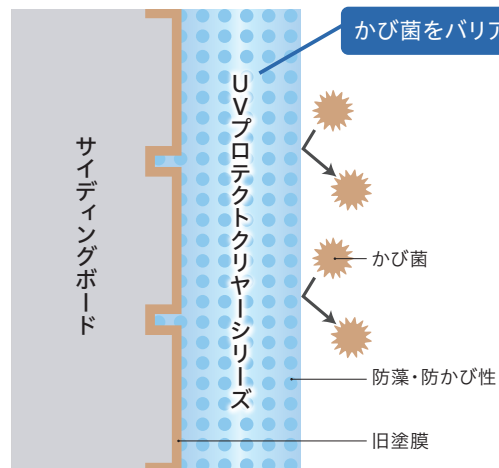
1 紫外線や経年に対するすぐれた耐侯性

紫外線で塗膜が劣化すると、顔料が露出して粉をふいたような現象(チョーキング)が発生。UVプロテクトクリアーシリーズは、2液硬化反応による強じんな塗膜で、サイディングボードを新築時に近い風合いのまま維持します。

顔料の露出を防ぐことで、美しい意匠をより長く維持します。



2 藻やかびの発生を抑制し、汚れを浮かし落とす超低汚染性



UVプロテクトクリアーシリーズによる塗膜は水になじむ性質(親水性)を持つため汚れが付着しにくく、雨水によって汚れを流す特長を持っています。また、防藻・防かび性も備え、住宅の外観を美しく保ちます。

3 クリヤー塗膜で引き立つサイディングの意匠性

加工が容易なサイディングボードは、意匠性が素材の魅力です。それを塗りつぶすのではなく魅力はそのまま、つやなどによってさらに引き立てます。



単色塗装(塗りつぶし)



UVプロテクトクリアーシリーズ

[対応表]

“つや”感はお好みで
お選びいただけます

	つや有り	3分つや有り	つや消し
ピュアライドUVプロテクトMKクリアー	●	●	—
ピュアライドUVプロテクトDFクリアー	●	●	—
ピュアライドUVプロテクトSiクリアー	●	●	●
ピュアライド水性UVプロテクトクリアー	●	●	—

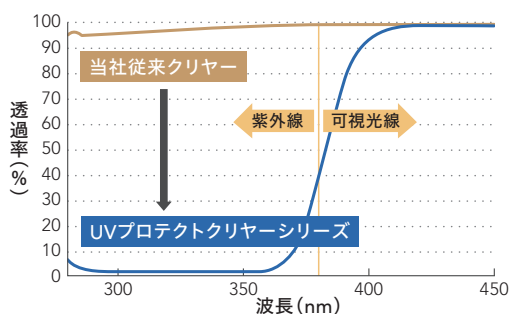
※写真は印刷物であり、実際のつや感とは異なります。

数字で見るUVプロテクトクリヤーシリーズ

Data

塗膜を劣化させる紫外線領域が
ほぼ **0** に
(295~380nm)

【UVプロテクトクリヤーシリーズの紫外線抑制効果】

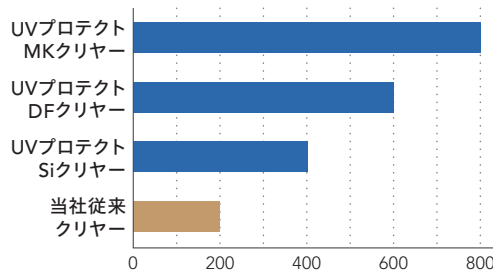


塗膜を劣化させる紫外線領域(295~380nm)が
ほぼ抑制される。

表面劣化が始まるまでの時間を
最大 **4倍** に
(従来塗料比)

【耐久性(SUV)】

表面劣化(クラックの発生)が認められるまでの時間
※一般的な自然環境下よりも厳しい下記試験環境下での数値



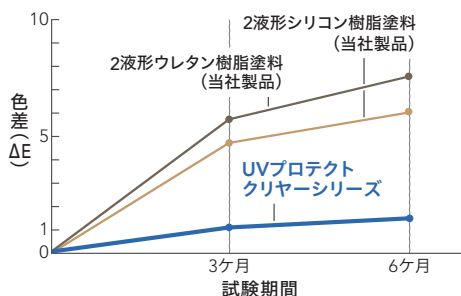
試験機器: メタルハライドランプ式耐候性試験機 - スーパーUV (SUV)
放射照度: 1,000W/m² 湿度制御方式蒸気加湿方式

紫外線は人の健康や環境への影響度の観点から、波長によってUV-A(315~380nm)、UV-B(280~315nm)、UV-C(200~280nm)の3つに分けられます。この内、地表に届き私たちの生活に影響を与えているのは295nm以上の紫外線。皮膚など人体に悪影響を及ぼすように塗膜の劣化を進めてしまいます。UVプロテクトクリヤーシリーズは、この波長領域の紫外線透過量を減らし、塗膜面の劣化を長期にわたり保護します。

雨だれによる汚れを示す色差(ΔE)の値が約 **1/6** に

屋外に塗板をさらし、雨筋上の汚れのつく程度を色差(ΔE)で測定した結果、シリコン樹脂塗料やウレタン樹脂塗料とくらべ、汚れの見え方が約1/6に抑えられる結果となりました。

【低汚染性比較データ】(実施場所: 日本ペイント東京事業所)



※ΔEの数値が小さいほど、耐汚染性にすぐれていることを示しています。
※建物の構造によっては低汚染性が発揮されにくい場合があります。

試験開始6ヶ月後



UVプロテクト
クリヤー

当社一般
低汚染塗料

● 耐候性グレード比較



窯業系サイディングボード用クリヤーのパイオニア =UVプロテクトクリヤー Long history

日本ペイントグループは自動車用塗料の領域でも
そのシェアは世界中でトップクラス。
培った技術で住宅の外壁塗装に新たな選択肢を

車や携帯電話などの工業製品は、つや出しや塗料の色落ちを防ぐために、クリヤーコーティングという塗装を施しています。そのため艶と強度を保つことができます。

従来の外壁塗装はクリヤーコーティングのない、いわゆるエナメル塗りが主流であり日焼けなどが原因で初期の美しい色艶が次第に失われてしまいます。UVプロテクトクリヤーシリーズは日本ペイントの自動車塗装で培われた技術を基に開発いたしました。

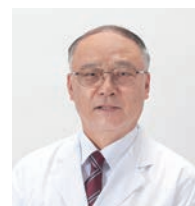
初期美観の保持が飛躍的に向上し色あせが目立たない外壁塗装をお勧めします！

COATING TECHNOLOGY



「窯業系サイディング専門家の声」

窯業系サイディング材メンテナンス技術研究所
所長：古畑 秀幸氏



窯業系サイディングは戸建住宅とアパートの外壁の約8割(*1)を占めています。

そのうち3分の2は高意匠でさらにその3分の2は工場でクリヤー塗装されており、トップクリヤー塗膜は無機系・フッ素系・アクリルシリコン系・一部光触媒系となっています(*2)。

意匠が命の高意匠窯業系サイディングのメンテナンスには性能が高い「クリヤー塗料」が必要です。当研究所は開設後500件を超える施主からの相談へ対応し、多色の高意匠窯業系サイディングのメンテナンス

の相談も多く寄せられています。クリヤー塗料の選定にあたり、①長きにわたる実績②旧クリヤー塗膜への適用範囲の広さ③光沢や美観の持続性④雨筋やかび・藻の付着しにくさなどを基準に相談者へお勧めし、大変好評をいただきました。UVプロテクトクリヤーシリーズは今回さらに耐候性の高い無機系グレード製品のラインアップ拡大をし、より安心して施主へお勧めできます。

*1 日本サッシ協会 2024年3月版 住宅用建材使用状況調査より

*2 窯業系サイディング材メンテナンス技術研究所 調べ

標準塗装仕様(塗り替えの場合)

●各種業系サイディングボード

塗装工程		塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥 時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整		高意匠サイディングボード面を補修したのち水洗いし、十分に乾燥させてください。エフロレッセンスはスクレーパー、ワイヤーブラシなどで削り落とし除去してください。						
無機系	下塗り	ピュアライドUVプロテクトMKクリヤー(つや有り)	1	0.12～0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20～40 5～10 0～10	エアスプレー エアレススプレー はけ※・ウールローラー
	上塗り	ピュアライドUVプロテクトMKクリヤー(つや有り・3分つや有り)	1	0.12～0.14	－	塗料用シンナーA	20～40 5～10 0～10	エアスプレー エアレススプレー はけ※・ウールローラー
フッ素系	下塗り	ピュアライドUVプロテクトDFクリヤー(つや有り)	1	0.12～0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20～40 5～10 0～10	エアスプレー エアレススプレー はけ※・ウールローラー
	上塗り	ピュアライドUVプロテクトDFクリヤー(つや有り・3分つや有り)	1	0.12～0.14	－	塗料用シンナーA	20～40 5～10 0～10	エアスプレー エアレススプレー はけ※・ウールローラー
シリコン系	下塗り	ピュアライドUVプロテクトSiクリヤー(つや有り)	1	0.12～0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20～40 5～10 0～10	エアスプレー エアレススプレー はけ※・ウールローラー
	上塗り	ピュアライドUVプロテクトSiクリヤー(つや有り・3分つや有り・つや消し)	1	0.12～0.14	－	塗料用シンナーA	20～40 5～10 0～10	エアスプレー エアレススプレー はけ※・ウールローラー
	下塗り	ピュアライド 水性UVプロテクトクリヤー(つや有り)	1	0.10～0.16	4時間以上	水道水	20～30 0～10	エアスプレー はけ※・ウールローラー
	上塗り	ピュアライド 水性UVプロテクトクリヤー(つや有り・3分つや有り)	1	0.10～0.16	－	水道水	20～30 0～10	エアスプレー はけ※・ウールローラー

(注) ・上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗装物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
・施工上の要点及び注意事項をよくご確認ください。
・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不足などが起こります)
・下塗りには必ずつや有りを塗装してください。上塗りには下塗りと同品種をご使用ください。
・UVプロテクトMKクリヤー、UVプロテクトDFクリヤー、UVプロテクトSiクリヤー、水性UVプロテクトクリヤーは混合できませんのでご注意ください。
※ダレた塗料が溜まった場合には、目地はけで広げてください。

適用下地	高意匠サイディングボード	●光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。 ●シーリング面は塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので塗装を避けてください。
------	--------------	--

製品体系

製品名	一般名	容量	色相	つや	塗り面積/ 缶当り/1工程	ポットライフ (23℃)
ピュアライド UVプロテクトMKクリヤー	超低汚染セラミックハイブリッド 無機系外壁保護クリヤー	15kgセット(塗12kg 罫3kg)	透明	つや有り・3分つや有り	115m ²	6時間
		3kgセット(塗2.4kg 罫0.6kg)			23m ²	
ピュアライド UVプロテクトDFクリヤー	超低汚染フッ素系外壁保護クリヤー	15kgセット(塗12kg 罫3kg)	透明	つや有り・3分つや有り	115m ²	6時間
		3kgセット(塗2.4kg 罫0.6kg)			23m ²	
ピュアライド UVプロテクトSiクリヤー	超低汚染シリコン系外壁保護クリヤー	15kgセット(塗12kg 罫3kg)	透明	つや有り・3分つや有り ・つや消し※1	115m ²	6時間
		3kgセット(塗2.4kg 罫0.6kg)			23m ²	
ピュアライド 水性UVプロテクトクリヤー	水性2液形高意匠サイディングボード用超低汚染 シリコン系外壁保護クリヤー	15kgセット(塗14kg 罫1kg)	乳白色	つや有り・3分つや有り	115m ²	6時間

※1「つや消し」はUVプロテクトSiクリヤー(15Kgセット)のみの設定です。

施工上の要点及び注意事項 (詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 被塗装面の洗浄やエフロレッセンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗装面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて入念に行ってください。薬品が壁面に残存したまま本品を塗装しますと塗膜の縮み、白化、はく離を起こすおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定してください。
- 光触媒のサイディングボードには適応していません。光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- つや調整品を使用する場合は下塗り「つや有り」をご使用ください。つや調整品を2回塗りしますと、つやむらが生じることがあります。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- シーリング面は、マスキングテープなどで養生を行い、塗装を避けてください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあります。
- 吸い込みやすい基材では使用量が多くなります。
- 経年したサイディングボード面への塗装は、劣化が進行しており、表層内劣化部からはく離するおそれがあります。試験施工を行い、付着性を確認してください。
- つや調整品を使用の際、吸い込みが著しい場合には、乾燥後吸い込みむらによる目地部の白化(つや消し剤のたまり)を生じることがありますので、1回目塗装時に表面に塗膜が残らないような場合はつや有りを増し塗り、もしくは2コートして吸い込みを止めから上塗り塗装してください。下塗りには必ずつや有りを使用してください。つや調整品を下塗り用いますと前述の目地部白化が生じやすくなります。
- 目地部が深く、ローラーで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
- 目地部の塗料たまりや被塗装面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむら切りし、除去してください。
- 塗料液は濡れ肌になるため、既存色より濃くなりますのでご了承ください。特に劣化が著しい場合は色調の復元にばらつきがあります。不安な場合は試験施工を実施して仕上がりをご確認ください。
- 仕上りがむらになりやすいため、ニッペカラーマックスFAや各種現場調色用着色剤を使用して調色することは避けてください。
- クリヤー仕上りは下地の状態をそのまま表出してしまうため、下地の劣化が著しい場合はおすすめてできません。ヘラクランなどの発生がなく、かつ築後10年以内であることをいちおうの目安にしてください。
- 下塗り材にエポキシ樹脂塗料(ニッペ浸透シーラー(新))などは使用しないでください。変色、はく離の可能性あります。
- 本製品は、優れた性能を発揮させるために、非常に敏感で強固な反応をするように設計されています。水やアルコール類が、塗料液や硬化剤に混入しないようにしてください。また空気中に含まれた水分や湿気とも敏感に反応します。必ず密栓し、冷暗所に保管してください。開缶後の、マスカーなどの封は不十分です。
- 長期間の保管(6か月以上)は避けてください。また、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- コーナーエッジやジョイント部で塗膜がはがれている場合は、フラインクレーションU100やフラインシリンコンプレッシュJで補修した後にクリヤーを塗装してください。補修用として1液タイプをご利用の場合は、塗装後必ず1日以上乾燥させてください。縮み可能性があります。
- 釘頭が出ている場合は1液バリエーションデクロ+フラインクレーションU100などを施した後クリヤーをかけてください。さび止め塗装した上にクリヤーをかけることは決してしないでください。
- 水洗後晴天下で必ず1日以上乾燥させてください。乾燥が不十分である場合、クリヤー仕上げのためボードに残った水分の影響による外観上の不具合が目立ちやすくなるおそれがあります。
20. つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
21. つや調整品では、塗り過ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って適量で塗装してください。
22. 過剰希釈をするときと本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈率をまもってください。
23. つや調整品は被塗装物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
24. つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
25. 被塗物の構造、部位、塗装仕上がり形状、環境条件などご影響で、本来の低汚染機能が発現しない場合があります。
26. 塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染から発生の原因になります。
27. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
28. 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
29. 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
30. 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
31. 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
32. 旧塗膜に発生した塵・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄面にしてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
33. 素地の乾燥は十分に行ってください。
34. 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
35. 屋外での塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
36. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
37. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
38. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
39. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上りがり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
40. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
41. 汚れ、さびなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
42. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
43. 可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビゾル鋼板、塩ビシート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装は避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
44. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
45. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
46. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を倒壊しにしないでください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。 ■本製品は日本国内での使用に限り、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101	近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6711	中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614	四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614	九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960	

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名「ピュアライド」、会社名「ロゴマーク」は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright © 2025 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>



カタログNo
NP-D051
SS250420T
2025年4月現在